

## 知足のもとで

卒業生、修了生の皆様、ご卒業・修了おめでとうございます。又、これ迄温かくご支援をされてこられたご家族の方々にもお祝い申し上げます。

新型コロナウイルスも五類扱いとなり令和5年度はほぼコロナ前の学園生活にもどりました。皆様は二つの違った学園生活という貴重な体験をなされました。一方、一般社会もコロナ禍を克服して新たな歩みを進めております。皆様は就職、研究、教育等それぞれ新たな門出を迎えております。本学で育て来たものを大いに発信して社会に貢献してください。本年は学園創立100周年です。昔は人生50年といわれていたのが、今は100年といわれるようになりました。20代の皆様はこれからも学ぶ事が多々あるでしょう。人は生かされ生きております。自分自身の努力は勿論大事ですが、周りからのサポートもいとわないことです。順風満帆の時も挫折の時もあるでしょう。いずれの時も知足です。人は思想、意欲等多種多様な要素を持ち合わせています。それ故に、妄想も起こりやすい、極端な場合は妄想が正しいものと誤認してしまうことがあります。「知足」を辞書で調べると満足とか、分をわきまえる事とか、余計な望みをもたない事とか書かれていますが、ここでいう知足は違います。何事があってもどんな時でも知足です。大覚円成の知足です。人皆豊かに備わっているものに会契する事です。万物の存在の尊厳性のもと人は恩しみ生かされています。皆様これから知足のもと多種多様性の社会に更に学びながら、自分の力をそれぞれの分野で発揮される事を祈念申し上げ、ここに祝辞とさせていただきます。

令和6年3月14日

鶴見大学・鶴見大学短期大学部  
学長 中根正賢

